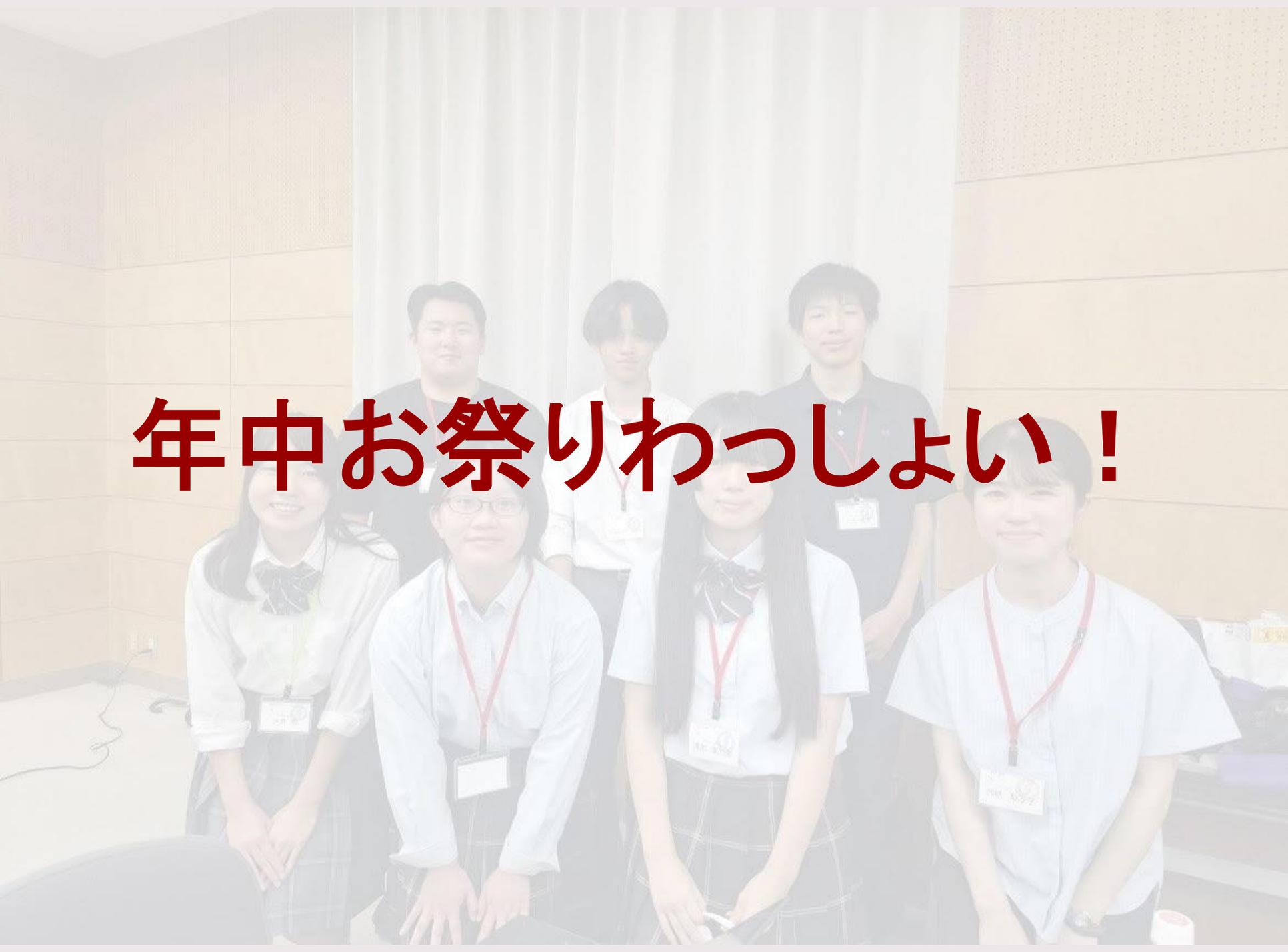


**年中お祭りわっしょい！**



# 目次

- 01 自分たちの「様々な人が行き交いにぎわうまち」とは
- 02 RESASによる現状分析&着目した課題
- 03 課題の解決策
- 04 未来の石岡のポジション
- 05 まとめ

# 01 「様々な人が行き交いにぎわうまち」とは

石岡と言えばお祭り！！

## ● 現状の魅力

- ・伝統ある祭り(山車)
- ・地酒
- ・看板建築

## ● 課題

- ・外国人や子どもが少ない
- ・定期イベントや新しい魅力不足
- ・ブランド力が弱い

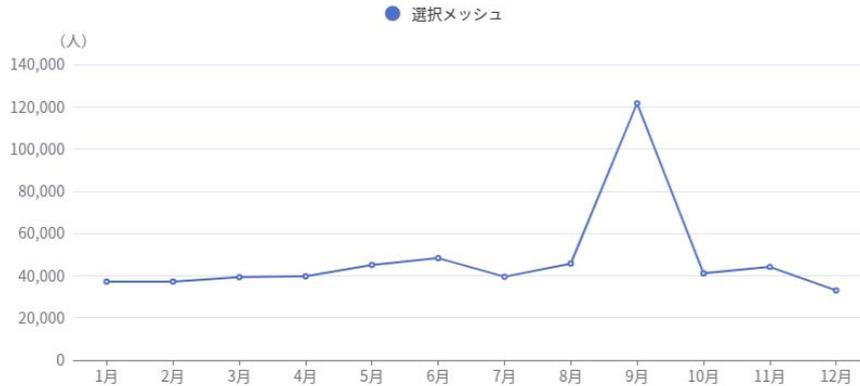


お祭りを通して人と賑わいであふれる街にしたい

# 02 RESASによる現状分析

## 滞留人口の月別推移

2024年 休日 全ての時間帯 250mメッシュ  
(すべての性別、すべての年代、すべての推定居住地)



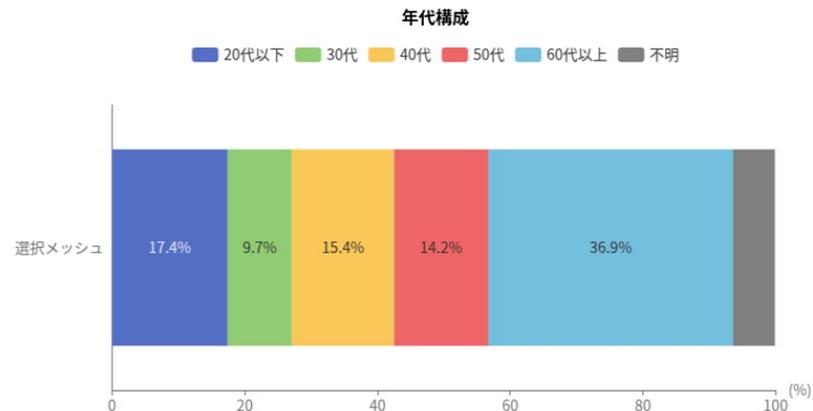
←2024年の石岡駅周辺  
滞留人口  
9月は12万人で、  
その他の月は5万人に満たない。

【出典】

[LocationMind xPop © LocationMind Inc.](#)

【注記】 +

滞留人口の年代構成→



9月以外にも人が集まるような仕掛けが欲しい！

## ②-1 春 獅子祭り

場所:石岡市複合文化施設予定地  
(いしおかイベント広場)

ターゲット:世代問わず地元の方

主催:実行委員、観光協会  
(地元の方)



獅子舞コンテスト、獅子舞の展示やキッチンカー、じゃかもこじゃんという石岡市柿岡八幡宮伝統の太々神楽のステージなどが行われる。

石岡市の伝統を活用し、年齢別のコンテストなどを行い、幅広い年代が来ているが、外国人も来やすいような印象はないのが現状。

## ②-2 夏 石岡のおまつり

場所: 石岡市香丸商店街振興組合、中町商店街

ターゲット: 地元の住民

主催: 常陸国総社宮の氏子会

- ・大神輿→一般的に神社の祭礼で最も大きく神様が宿るとされる。
- ・幌獅子→全国的にも珍しい大型の獅子。
- ・山車→祭礼のとき、飾り物をしたり大太鼓を積んだりして引き出す車。



## 03 課題の解決策

### ③-1 秋のまつり

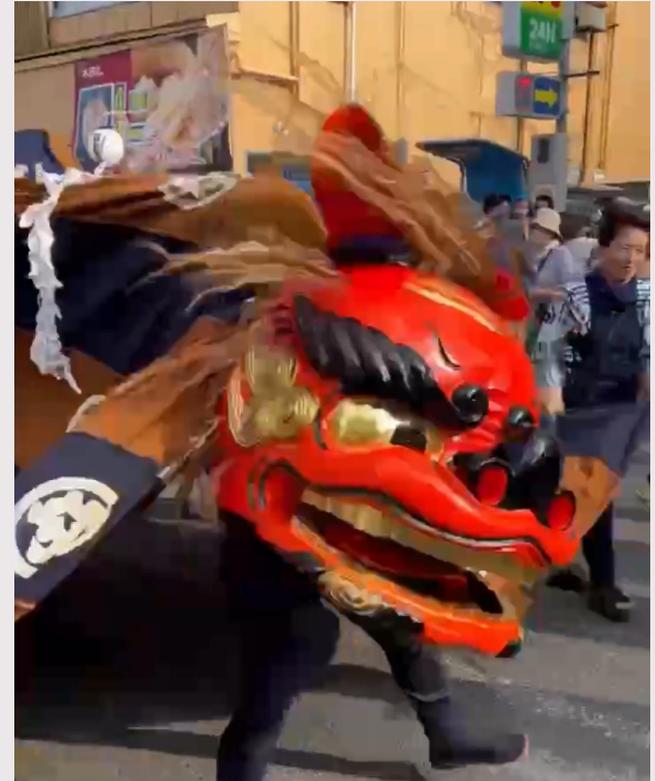
場所：中町商店街

ターゲット：家族連れ、外国人

主催：地元の方(春の獅子祭関係者、  
商店会の呉服屋に協力してもらう)  
石岡の3高校校の学生

○獅子舞コンテスト  
県外や海外の方の参加型イベント

○日本文化体験  
着物、獅子舞



# 03 課題の解決策

## ③-1 秋のまつり

場所：中町商店街

ターゲット：家族連れ、外国人

主催：地元の方、石岡市の高校生



○石岡巡りツアー  
石岡の歴史を歩いて学ぶ

- デザート屋台
- ・八郷のフルーツ
- ・石一の農作物
- ・石二の味噌パン
- ・石商のアイス



## 03 課題の解決策

### ○冬のまつり

開催予定地：御幸通り付近

ターゲット層：10代などの若年層

主催：学生や地域住民の方々



○スープやホットココアなど冬に最適な温かいものの販売。

→他にも冬に最適なおでんなどの飲食販売も視野に。



○イルミネーション等のフォトスポットの設置。

→御幸通り以外にステーションパークなども有



# 03 課題の解決策

## ○祭り開催地の工夫



開催場所を分散させ、様々な場所を訪れてもらう工夫

## ④ 未来の石岡市のポジション

石岡市年中お祭りわっしょい！  
お祭りを**熱心**に盛り上げろ

が実現したら、

石岡市は、

茨城県随一の

活気に溢れた  
お祭りステーション

まつりのまち、いしおか！！



## 05 まとめ

- 1.賑わう街を作るためにはお祭りや今ある魅力で課題をこなす必要がある。
- 2.石岡市では9月の祭り以外は人出が少なく、ほかの月は高齢者の帯留人口が多かった。
- 3.新しいものを考えるのは簡単だが、今ある物を利用して考えるのはとても大事だと思う。その中で石岡は祭りのイメージしかないと思われがちだが、それは違う。もっともっと祭りで盛り上げれば良い。
- 4.年四回お祭りをを行うことで、より活気に満ちた石岡市になります。